協調運動計測システム操作説明書

システム構成:

本システムは、図1に示すパーツで構成されています。 システムボックス(図中左) ロータリーノブ×2個(図中右)



図 1

起動前の準備:

- ・システムボックスと DAQ を専用のケーブルで接続する
 <計測用 PC には、事前に計測用ボード(PCI-6024E: NI 社製)をセットアップしておくことが必要です>
- ・MBP (Measure Buffered Pulse)を起動する前にロータリーノブ2台を図2 の様にシステムボックスと接続し、コネクターをロックします。



図 2

内部クロックによる計測:

Copyright(C) 2009 NIPS Technical Division. All Rights Reserved.

・SW を INT にセットします

外部クロックによる計測:

・EXT.CLK IN ヘクロック信号(TTL)を接続し、SW を EXT にセットします 計測ソフトの起動:

MBPを実行すると、図3のダイアログが現れ、左側にデフォルトの計測間隔時間(10msec)が現れます。

計測間隔を変更する:

一度、FIN(終了)ボタンを押してプログラムを停止します。

図4のダイアログが現れるので、使用する Clock Frq を選択後、ダイアログ上 部にある実行ボタン (⇒)を押して、起動します。

🔀 MBP6.vi			×
Measure Buffered P	Measure Buffered Pulse 1.0		FIN
		23 sec	
	Measure	e Ready 🧿 ————	
Meas. Intrvl			
10 msec	START	STOP	
	Left Value	Right Value	
	201		
	321	11	

図 3



Copyright(C) 2009 NIPS Technical Division. All Rights Reserved.

エラー10401が発生する:

使用中の計測用ボードのデバイス番号の設定が異なる場合は、図5のエラーが 発生します。その場合は、停止ボタンを押します。

MBP6.v	li	×
Measure	Buffered Pulse 1.0	FIN
Dev.	No Clock Fra. (Hz.)	
43	D D	<u>د</u>
	エラー-10401が CTR Group Configで発生しました。	
	エラーの説明	
Meas. : O	NE-DAQ LV: 指定のデバイスをサポートしませんく例えば、そのデバイスをサポートする前に そのドライバガンサポートしませんく例えば、そのデバイスをサポートする前に そのドライバガリースされた場合)、またしはMeasurement &	
	Automationエクスプローラにてデバイスを構成されていません。	
	推続 停止	
	0 0	_

図 5

図6のエラーが発生する場合は、システムボックスの SW が EXT にセットさ れた状態で、クロック信号(TTL)が接続されていませんので、発振器を接続 するか、SW を INT に切り替えてください。

🔁 MBP6.vi				×
Measure Buffered P	Measure Buffered Pulse 1.0			
Dev.No	Clock Frq .(Hz)			
3 1	1000	11 sec		
Meas. Intrvl 0 meec	1 Set External Clock for measurement !			
	Left Value	Right Value		
	0	0		
	। श्र	3		
	Д С	,		

参考資料



計測精度調查用構成図



Copyright(C) 2009 NIPS Technical Division. All Rights Reserved.